

# 宮崎選手と1対1で勝負

## 高山市内の中高中生50人と練習

### 女子バスケット五輪代表

女子バスケットボールの東京五輪代表、宮崎早織選手（左）＝ENEOSサンフラワーズが二十六日、高山市の高山西高校で、市内の中高中生約五十人と練習し、汗を流した。

市バスケットボール協会が主催。宮崎選手の姉が市内に

生徒とバスケットを楽しむ宮崎選手（手前左）＝高山市下林町で



住んでいる関係で実現した。バスケットのクラブチームに所属する女子中学生と、高山西高の女子バスケット部員が参加した。まず生徒同士でペアになり、ドリブルやパスを行ってウォーミングアップ。宮崎選手は「お尻より低い位置でドリブルすると、相手に取られにくい」などとアドバイスしていた。

生徒が、宮崎選手と1対1で勝負をする場面も。宮崎選手の緩急をつけたドリブルに置いていかれたり、強烈なブロックでシュートを阻まれたりしていた。

最後に宮崎選手は「うまくいかない時、バスケットをやめたいと思ったこともある。でも何度も立ち上がったから今の自分があるし、成長できた」と自身の経験を語り、エールを送った。

松倉中三年の野口知華さん（左）は「部活できついことがあっても、その分、良いことが待っていると信じて頑張ろうと思った」と感想を述べた。（松沢侑香）